

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州貨物鉄道施設保有株式会社
会社概要	会社の 事業概要	1 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付 2 倉庫業 3 駐車場業 4 広告業 5 前各号に付帯関連する一切の事業
	資本金額	400,000 千円
	本市の出資額	196,000 千円
	本市の出資割合	49.0 %
	従業員数	2 人
営業報告の要点		<p>施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において、総合事務所冷暖房設備取替工事、トラックスケール設置に伴う付帯工事、構内照明のLED化、構内アスファルト舗装の修繕工事を日本貨物鉄道株式会社の施工で行った。</p> <p>収支状況について、日本貨物鉄道株式会社からの施設貸付料収入は、234,565 千円（前期比 -8.7%）となった。</p> <p>また、売上原価・販売費及び一般管理費は 200,973 千円（前期比 -8.8%）となった。</p>
収支状況 の要点	当期純利益	2,591 千円
	前年度との比較	<p>○営業利益は、33,590 千円で、前期比 2,969 千円（8.1%）の減となった。</p> <p>○経常利益は、5,191 千円で、前期比 863 千円（19.9%）の増となった。</p> <p>○当期純利益は、2,591 千円で、前期比 1,635 千円（38.7%）の減となった。</p>
	その他 (剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など)	北九州貨物ターミナル駅整備（門司貨物拠点整備事業）及び鹿児島線鉄道貨物輸送力増強事業に係る借入金について、141,000 千円の返済を行った。
繰越利益剰余金		17,959 千円
株主総会 （令和6年6月27日 開催）	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1) 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号議案 第25期計算書類承認の件 ・ 第2号議案 取締役5名選任の件 <p>いずれの議案も異議なく承認可決</p> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第25期事業報告の件

(令和6年3月31日現在)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

令和5年度 経営状況報告

令和6年8月1日

産 業 経 済 局

第25回定時株主総会議案書

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 開催日時 令和6年6月27日（木曜日） 16時00分より
2. 開催場所 福岡県北九州市小倉北区浅野1丁目1番1号
JR九州ステーションホテル小倉 7F「響の間」
3. 目的事項
 - 【報告事項】 第25期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）
事業報告の件
 - 【決議事項】
 - 第1号議案 第25期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）
計算書類承認の件
 - 第2号議案 取締役5名選任の件

報 告

第 25 期

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

事 業 報 告

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

事業報告

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

1. 株式会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及びその成果

平成11年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した門司貨物拠点整備事業の設備が平成14年3月に完成し、また平成19年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成23年3月末に完成しました。

これら施設の当該事業年度における維持管理は、北九州貨物ターミナル駅において、総合事務所冷暖房設備取替工事、トラックスケール設置に伴う付帯工事、構内照明のLED化、構内アスファルト舗装の修繕工事、福岡貨物ターミナル駅においては、コンテナホーム舗装の修繕工事、排水設備の修繕工事を日本貨物鉄道株式会社施工で実施しました。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っておりますので、今後とも鉄道施設の維持・管理に努めてまいります。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、234百万円となり、長期借入金返済については、みずほ銀行へ90百万円及び日本政策投資銀行へ50百万円の返済を行いました。

売上原価163百万円、販売費及び一般管理費は37百万円となっております。

以上のような状況のもと、経常利益は5百万円となり、当期純利益は2百万円となりました。

2. 当社が対処すべき課題

当社の主たる事業は、国、並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守、維持管理が重要となっております。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めてまいりますとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行ってまいります。

わが国の物流業界においては、いよいよ2024年問題（トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制）がその期限を迎え、少子高齢化に伴う労働力不足の深刻化とも相まって、物流生産性向上に向けた取組みが喫緊の課題である状況にあります。EC市場の急拡大による輸送需要の変化など、物流DXの推進やフィジカルインターネット実現に向けた対応が求められています。そのような中、環境特性や労働生産性に優れ、幹線物流を担う貨物鉄道輸送の期待が高まっており、このような状況に 대응するため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め地域の発展に寄与してまいります。

3. 資金調達状況

当期は、増資はありません。

4. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区分	期	第22期	第23期	第24期	第25期
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	(当期) 令和5年度
売上高	(千円)	286,765	304,062	256,826	234,565
経常利益	(千円)	7,227	36,471	4,328	5,191
当期純利益	(千円)	2,685	2,544	4,227	2,591
1株当たり当期純利益	(円)	335.66	318.08	528.36	323.98
総資産	(千円)	2,531,632	2,351,506	2,212,209	2,080,247
純資産	(千円)	408,596	411,140	415,368	417,959

5. 主要な事業内容及び事業所

(1) 事業内容

当社は、(i) 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付、(ii) 倉庫業、(iii) 駐車場業、(iv) 広告業、(v) 前各号に付帯関連する一切の事業を営むことを目的としております。

(2) 事業所

本 社 所 在 地 北九州市門司区大里新町11番1号

6. 使用人の状況

令和6年3月31日現在

性別	従業員数	記 事
男子	1名	日本貨物鉄道株式会社から出向受け
女子	1名	契約社員
計	2名	

7. 主要な借入先及び事業別の借入残額

(単位：千円)

借入銀行	事業名		合 計
	門 司 事 業	鹿 児 島 モ ー ダ ル 事 業	
日本政策投資銀行	0	376,800	376,800
みずほ銀行	627,000	644,450	1,271,450
計	627,000	1,021,250	1,648,250

II. 株式に関する事項

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 発行可能株式の総数 | 32,000株 |
| 2. 発行済株式の総数 | 8,000株 |
| 3. 株主数 | 3名 |
| 4. 株主名 | |

株主名	持株数	持株比率	株主への当社の出資状況
日本貨物鉄道株式会社	3,920株	49.0%	なし
北九州市	3,920株	49.0%	なし
株式会社みずほ銀行	160株	2.0%	なし
計	8,000株	100.0%	

III. 会社役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の氏名等

令和6年3月31日 現在

氏名	地位	他の法人等の役職
但野 新二	代表取締役社長	日本貨物鉄道(株) 九州支社長
岩奥 修次	専務取締役	常勤取締役
佐溝 圭太郎	取締役	北九州市 港湾空港局長
奥田 仁	取締役	日本貨物鉄道(株) 執行役員経営企画部長
(小計)		(4名)
志田 琢生	監査役	(株)みずほ銀行 社会・産業基盤第二部次長
菅澤 桂一	監査役	日本貨物鉄道(株) 財務部担当部長
(小計)		(2名)
合計		6名

- (注) (1) 取締役 佐溝圭太郎氏及び奥田仁氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
(2) 取締役 小石富美恵氏は、令和6年3月31日をもって辞任いたしました。
(3) 監査役 志田琢生氏及び菅澤桂一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

2. 取締役及び監査役の報酬等の額

(単位：千円)

区分	人数	報酬等の額	適用
取締役	1名	8,024	

第1号議案

第 2 5 期

令和 5年 4月 1日 から
令和 6年 3月 31日 まで

計 算 書 類

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

貸借対照表

令和6年3月31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 但野 新二

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 I 流動資産】 現金・預金 前払費用	【 100,701 】 100,602 98	【 I 流動負債】 1年以内返済長期借入金 未払費用 未払利息 未払法人税等 未払消費税等 預り金	【 152,697 】 141,000 1,261 2,292 3,831 4,032 279
【 II 固定資産】 有形固定資産 建築物 構築物 機械・装置 建物付属装置 工具器具備品 土地 減価償却累計額 無形固定資産 電話加入権 鉄道軌道連絡通行 施設利用権 投資等その他の資産 繰延税金資産	【 1,979,546 】 (1,310,563) 305,843 3,518,017 45,078 45,980 1,039 10,503 △ 2,615,898 (668,483) 72 668,411 (500) 500	【 II 固定負債】 長期借入金 役員退職慰労引当金	【 1,509,590 】 1,507,250 2,340
		負債の部合計	1,662,288
		純資産の部	
		【 I 株主資本】 1. 資本金 2. 利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	【 417,959 】 400,000 17,959 17,959 17,959
		純資産の部合計	417,959
資産の部合計		負債・純資産の部合計	
2,080,247		2,080,247	

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
【売上高】		
施設貸付料	234,565	234,565
【売上原価】		
租税公課	23,720	
減価償却費	137,275	
補償負担金手数料	2,286	163,282
売上総利益		71,282
【販売費及び一般管理費】	37,691	37,691
営業利益		33,590
【営業外収益】		
受取利息	1	
雑収入	4	5
【営業外費用】		
支払利息	28,404	28,404
経常利益		5,191
【特別損失】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純利益		5,191
法人税、住民税及び事業税		2,427
法人税等調整額		171
当期純利益		2,591

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

販売費及び一般管理費の計算内訳

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

(単位：円)

役員報酬	8,024,400
出向者負担金	8,418,218
従業員給与	4,393,560
従業員賞与	1,203,300
法定福利費	2,197,571
福利厚生費	277,558
役員退職慰労引当金繰入	1,337,400
通勤費	302,730
退職金	300,000
租税公課	2,791,516
旅費交通費	1,329,860
通信費	330,592
広告宣伝費	859,437
交際費	1,222,102
保険料	90,590
消耗品費	185,600
減価償却費	5,691
地代家賃	289,830
修繕費	0
賃借料	1,216,000
車両費	36,066
管理諸費	1,784,173
図書新聞費	134,431
諸会費	97,500
少額備品	0
リース料	700,560
寄付金	21,000
会議費	94,920
公告料	0
支払手数料	47,160
雑費	0
合計	37,691,765

棚卸資産の計算内訳

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

商	0
製	0
貯蔵品	0
仕掛品(半製品)	0
合計	0

株主資本等変動計算書

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金			
	当期首残高		400,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>400,000,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
	当期首残高		15,367,673
	当期変動額		
	当期純利益	2,591,829	<u>2,591,829</u>
	当期末残高		<u>17,959,502</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		15,367,673
	当期変動額		
	当期純利益	2,591,829	<u>2,591,829</u>
	当期末残高		<u>17,959,502</u>
株主資本合計			
	当期首残高		415,367,673
	当期変動額		
	当期純利益	2,591,829	<u>2,591,829</u>
	当期末残高		<u>417,959,502</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		415,367,673
	当期変動額		
	当期純利益	2,591,829	<u>2,591,829</u>
	当期末残高		<u>417,959,502</u>

第 25 期

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

個別注記表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法及び旧定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法及び旧定額法を採用しています。

2. 引当金の計上基準

(1) 役員退職慰労引当金

役員が役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

4. 税効果会計の適用

法人税、住民税及び事業税について税効果会計を適用しております。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 2,615,898千円

III. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との営業取引収入総額 234,565千円

2. 関係会社との営業取引支出総額 2,899千円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済総数 8,000株

V. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生原因内訳

未払事業税	500千円
合計	500千円

VI. 関連当事者との取引に関する注記

1. 名称	日本貨物鉄道株式会社	議決権割合	49%
取引内容	営業取引	営業収益	234,565千円
		営業外収益	0千円
		営業費用	1,555千円
		営業外費用	0千円

VII. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額	52,244円94銭
2. 一株当たり当期純利益金額	323円98銭

VIII. 会計方針の変更

特記無し

(注) VII以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第 25 期

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

計算書類に係る 附属明細書

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価格	当期			期末 帳簿価格	減価償却 累計額	取得原価
			増加額	減少額	償却費			
有形 固定 資産	建物	130,090	0	0	8,757	121,332	184,510	305,843
	建物附属設備	682	0	0	240	442	45,538	45,980
	構築物	1,260,408	0	0	82,513	1,177,895	2,340,122	3,518,017
	機械及び装置	583	0	0	194	389	44,688	45,078
	器具及び備品	5	0	0	5	0	1,039	1,039
	土地	10,503	0	0	0	10,503	0	10,503
	計	1,402,273	0	0	91,710	1,310,563	2,615,898	3,926,461
無形 固定 資産	電話加入権	72	0	0	0	72	0	72
	通行施設利用権	713,981	0	0	45,570	668,411	671,899	1,340,310
	ソフトウェア	0	0	0	0	0	4,960	4,960
	計	714,053	0	0	45,570	668,483	676,859	1,345,342
総計	2,116,327	0	0	137,281	1,979,046	3,292,757	5,271,803	

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

2. 引当金の明細

(単位:千円)


区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	0	0	0	0
賞与引当金	0	0	0	0
役員退職慰労金	1,003	1,337	0	2,340
退職給付引当金	0	0	0	0


(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

※引当金計上理由及び算定方法は計算書類の会計方針に記載のとおりです。

令和 6 年 6 月 5 日

北九州貨物鉄道施設保有株式会社
代表取締役社長 但野 新二 殿

監査役 心田 琢 

監査役 菅澤 桂 

監査報告書の提出について

会社法第381条第1項の規定に基づき、別紙のとおり監査報告書を作成しましたので提出いたします。

以 上

令和 6 年 6 月 5 日

監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役 石田 琢生

第25期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の社員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求め調査を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

令和 6 年 6 月 5 日

監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役 菅澤 桂

第 25 期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の社員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求め調査を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以 上

取締役5名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第20条により、取締役の任期は2年と定めており、現 但野新二取締役、岩奥修次取締役、佐溝圭太郎取締役、奥田仁取締役が任期満了となります。

また、小石富美恵前取締役は令和6年3月31日をもって辞任致しました。よって、下記のとおり、取締役5名の選任をお願い致します。

取締役候補者は、次のとおりです。

取締役候補者名	略 歴 等
但野 新二	重 任
岩奥 修次	重 任
山口 博苗	新任・経歴別紙
佐溝 圭太郎	重 任
奥田 仁	重 任

経 歴 書

- 1 氏 名 山口 博由 (やまぐち ひろよし)
- 2 生年月日 昭和41年6月28日
- 3 主な職歴
 - 平成10年 4月 北九州市 入職
 - 平成17年 4月 産業学術振興局産業学術政策部学術振興課主査
 - 平成26年 4月 産業経済局事業部競艇事務所長
 - 平成29年 4月 広報室報道課長
 - 平成31年 4月 産業経済局雇用・生産性改革推進部雇用政策課長
 - 令和 2年 4月 産業経済局緊急経済対策室長
 - 令和 4年 4月 産業経済局総務政策部長
 - 令和 5年 4月 デジタル市役所推進室長
 - 令和 6年 4月 産業経済局企業立地・農林水産担当理事 (現職)